

単元名 戦国の世から天下統一へ

<p>児童の実態 ①学力調査 課題 ②既習事項 児童の良さ ③単元について</p>	<p>昨年度12月の標準学力調査では、国語科において、情報と情報の関係について理解し、文章の情報を整理すること。算数科において、データを活用することに課題が見られた。そこで、社会科「戦国の世から天下統一へ」により、上記の力を少しでも高めていきたい。</p> <p>本学級は、歴史学習について興味関心をもって取り組む児童が多い。また、単元の導入で立てた問いに答えるために、調べたりまとめたりする学習を積み重ねてきている。そのため、調べたことや与えられた条件をもとに、自分の考えを文章で表現する力がついてきている。</p> <p>本単元では、当時の世の中の様子や織田信長と豊臣秀吉の業績などについて調べ、これらの事象を関連付けたり総合したりして、文章で記述したり説明したりしていく。</p>
<p>身につけさせたい力</p>	<p>本単元では、織田信長と豊臣秀吉はどのようにして天下統一をしたのかを学習問題とし、戦国の世の中の様子や信長と秀吉の働きを調べることを通して、戦国の世が統一されたことを理解できるようにする。学習問題に迫るために、調べた情報を関連付け、比較し、整理することを通して、自分の考えを文章で記述したり説明させたりすることで、児童の資質・能力を育成したい。</p>
<p>ICTの利活用</p>	<p>本単元では、学習問題に対する自分の考えを明確にするために、思考ツール(ジャムボード)を活用して比較したり関係付けたりして整理していく。その際、児童が思考ツールや学び方を選択する機会を与え、指導の個別化を図る。個別最適な学びと協働的な学びを繰り返す調べ学習と、学習問題に対して友だちと話し合う協働的な学びを通して、児童の資質・能力を育成していく。</p>

<p>単元目標</p>	
<p>○キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手がかりに、戦国の世が統一されたことを理解することができる。</p>	<p>[知識及び技能](1)ア(カ)</p>
<p>○遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめることができる。</p>	<p>[知識及び技能](1)ア(シ)</p>
<p>○世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができる。</p>	<p>[思考力、判断力、表現力等](2)イ(ア)</p>
<p>○戦国の世の天下統一を果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、粘り強く文章で記述したり、説明したりすることができる。</p>	<p>「学びに向かう力、人間性等」</p>

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①歴史上の事象をもとに、戦国の世が天下統一されたことを理解している。 ②遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめている。	③世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。	④戦国の世の天下統一を果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、粘り強く文章で記述したり、説明したりしようとしている。

単元計画		[評価計画]
第1時	教科書を元に、学習問題・学習計画を立てる。	④
第2時	戦国の世の中とその当時の外国との関わりについてまとめる。 【ICT:思考ツール(表)】	②③
第3時	織田信長と豊臣秀吉の業績について調べる。 【ICT:思考ツール(表)、個別最適:二人の武将のうち自分が調べたい方から調べる】	②
第4時	織田信長と豊臣秀吉について調べたことを共有する。 【ICT:思考ツール(ピラミッドチャート、フィッシュボーン、クラゲチャート)、個別最適:思考ツールの選択、天下統一に向けての働きが一番大きいと思う社会的事象を調べる】	①②
第5時 (本時)	天下統一に向けての織田信長と豊臣秀吉の働きについて話し合う。	③④
第6時	戦国の世が統一されたことについてまとめる。	③④

研究仮説 「主体的・対話的で深い学び」の実現の視点に立ったICTを利活用した授業展開の工夫

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ▾

ICTを利活用して、比較したり関係付けたりしながら整理していく活動や話し合う活動を繰り返し取り組むことで、自分の考えを深めることができるであろう。

本時の指導

(1) 目標

- 織田信長と豊臣秀吉の業績について関連付けたり総合したりして、どちらが天下統一に大きく貢献しているのかを表現することができる。

(2) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点
つかむ 5分	1 本時のめあてを確認する。	○前時までの内容を思い出させ、新たな問いに対する自分の考えを確認させる。【ICT:前時までに使用した思考ツール】
	めあて:天下統一を進めた織田信長と豊臣秀吉の働きについて、学習してきたことをもとに話し合おう。	
考える 深める 30分	2 学習の流れを確認する。	○話し合う内容について確認をする。(天下統一に向けての働きが大きかったのは、信長か秀吉か) ○話し合いの仕方を児童に選択させ、考えが深まる話し合いの仕方を考えさせる。(織田派、秀吉派の人を全体で確認して、どちらの立場の人と話し合うのかに視点をもたせる) 【個別最適:話し合い方の選択】
	3 話し合う。 【ICTの利活用】 4 全体で発表する。	1 考えの形成・交流・比較・認め合い・共有・深化 [協働学習] ○主張・理由・根拠の順で話させることで、社会的事象をもとに自分の考えを伝えさせる。 【使用する思考ツール(ピラミッドチャート、フィッシュボーン、クラゲチャート)の選択】 2 考えの認め合い・共有・深化・まとめ [協働学習] ○数人に自分の考えを発表させることで、考えを認め合い、共有させる。 ○友だちの考えを聞くことで、さらに自分の考えを深めたり、本時の学びを実感させたりする。
まとめる 10分	5 自分の考えをまとめる。	○根拠となる社会的事象を必ず入れて、自分の考えをまとめるようにする。 【個別最適:まとめを書くものの選択(ノート、タブレット)】 モデル:わたしは、()の方が天下統一に大きな影響を与えたと思います。その理由は、()だからです。その根拠は、()です。
	6 振り返り	○振り返りの視点を与えることで、本時の学びを実感させる。また、友達と学ぶことの良さを実感させる。

(3) 評価

- 織田信長と豊臣秀吉の業績について関連付けたり総合したりして、どちらが天下統一に大きく貢献しているのかを表現することができたか。